



東京金山会通信 No.52



東京金山会のページにアクセス!

問合せ

東京金山会 広報担当 (藤山善夫)
☎080-5525-0435
✉fujiyama.d.siren@ae.auone-net.jp

ホームページでの企業・商店様のご紹介企画について

東京金山会では、東京をはじめとする関東地域で、金山町出身者が経営または勤務される企業・商店様を、ホームページでご紹介をする企画をしております。ご登録いただいた企業・店舗様につきまして、ご要望により、事業詳細などをホームページへ掲載することができます。また掲載後のデータ更新も可能です。企業・商店様の情報発信の場として活用していただきたく、ぜひとも登録をお願いいたします。お知り合いの方がおられましたら、ぜひ、ご紹介をお願いいたします。

【登録申込先】

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里1-43-6
東京金山会事務局 担当：藤山 善夫
TEL：03-3801-2877 FAX：03-6806-6277
mail：fujiyama.d.siren@ae.auone-net.jp
※以下内容を記載のうえ、FAXまたはメールで登録申込をお願いします。
企業(店舗)名、ご住所・電話番号、Eメールアドレス、金山町出身地
企業(店舗)情報・PR内容

RADIO にゃ～にゃ～にゃ～のご紹介

先般の東京金山会総会でもご紹介させていただきました「RADIO にゃ～にゃ～にゃ～(略称ラジにゃ～)」金山出身のメンバー3名で個人配信している音声番組(ポッドキャスト)です。

お持ちの携帯電話で、いつでも聴くことができます。お仕事や家事の合間に「金山弁」で楽しく雑談する彼らの番組へ、耳を傾けてみてはいかがでしょうか。



▲番組への総合リンクはこちら



▲三瓶真人さんと須藤朋哉さん

森の子ども図書

No.210



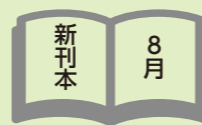
おぼけばなし
出版：大泉書店

おぼけという言葉は日本のものですが、おぼけに連なるものが日本だけとは限りません。

中国、デンマーク、スウェーデン、スペイン、アイルランド。こわいものもあれば不思議なもの、嬉しいもの、悲しいものまで様々です。日本を含む色々な場所にいるおぼけの御話しをどうぞご堪能下さい。

交流サロンポスト

月～金 12時30分～17時30分まで
※夏休み期間は10時開館
※12・1・2月は17時閉館
※祝・盆・正月は休み



※()内作者名

／今月は8冊!／

メメンとモリ(ヨシタケシンスケ)／つぎはぐさんかく(菰野江名)／物語の種(有川ひろ)／墨のゆらめき(三浦しおん)／ことばのくすり(稲葉俊郎)・・・他3冊

図書室だより



アニメスタジオで教わる背景画の大原則
増山修/KADOKAWA
絵は言葉の一つです。言葉と絵は本質的には「何かを伝えるための」にある手段であり、よく絵は才能やセンスとよばれますが、元々それは「蓄えられた情報の質と量の掛け合わせ」であり、それによって凡才が研磨されるのです。この本で触れている様々な法則が人生、仕事、思考の助けになれば幸いです。



先読み！IT×ビジネス講座 Chat GPT
古川渉/酒井麻里子/インプレス
従来のインターネットのビジネスモデルを揺るがす可能性を持った技術が今解き放たれようとしています。それは Chat GPT のような対話型 AI です。
旬の話題を手取り早く知りたい。この先どうなっていくか知りたい。業界、現場のリアルな話が知りたい。この三つの「知りたい」に、その分野の第一人者が答えます!

中央公民館内 9:00～17:00

ぶんげい

金山杉俳句会報 第四七七回

つば広の夏帽飛ばし風が過ぐ
夕星に一日の礼を簾越し
星川 キエ子

大きな葉打つ静かな露の雨
藍浴衣久方振りに袖通す
岸 昭子

梅雨曇り空を背負いてカタツムリ
雨にぬれ伐採林のシダの映え
高橋 洋子

老僧に茶を賜りて蓮の花
縫い終えて庭の青葉に眼を癒す
鶴沼 よし子

小手毬の花溢れたり垣根越
春の草季移ろいて濃き色に
阿部 一代

蓮浮葉月を灯せる夜の静寂
沙羅の花しとどに濡らす宵の雨
栗田 弥超

かねやま紅風会

葉桜や再会誓ふ八十の友
梅雨盛る白壁景観杉の街
夏浜や白波静かな観光地
荒屋 阿部 勝子

梅雨晴のそぞろ歩きの観光地
災害や忘れし頃の梅雨末期
機械農昔田植は語り草
荒屋 関 喜美子

茜空夏至の夕への明りかな
風誘ふあやめ色増す野辺の道
雨盛る重たき度の栗の花
菅越 庄司 けみ子

柴陽花や雨の匂ひに咲き競ふ
初蜜亡母に会ひたく迷ひ込む
廃屋や肥沃の土地に桐の花
七日町 柴田 栢静

久々に友とスクラム夏の山
草笛の旅人何処苔の花
草原の淡き夕日や虹たちぬ
上台 阿部 一步

夏草や眠りも深き古戦場
うら若く戌辰に散りし梅雨の墓
病床を見舞う紫陽花咲き競ふ

地域おこし協力隊 池田 達哉

定例の漁協河川放流について報告します!!

こんにちは！有屋の「いわなや」を、事業承継する活動をしております協力隊の池田です。今月のコラムは、定例の漁協河川放流について報告します。5月下旬より、金(かね)やまめ(10万匹以上)を行いました。の幼魚から神室イワナの成魚まで、最上郡内の河川へ定例放流(10万匹以上)を行いました。漁協や地域住民の方と、時にはリュックに幼魚と酸素と水を背負い山道を通り上流域へ出かけました。1匹でも多くの溪流魚が、定着し成長して欲しいと思います。町内では神室ダム上には幼魚を、成魚については金山川(風の丘公園など)へ放流しております。釣り人の皆さんは、ぜひ遊漁券をお持ちの上、お出かけください！また、先日は、真室川中学校生へSDGsの観点から河川保護の教育へ参加しました。生徒の中にはヤマメを初めて知る人もおり、放流を通して、パーマークの美しさや県魚であるサクラマスの一生涯を学び、環境保全、河川保護など地元の風景は、当たり前ではないこと、関心を持つことが大切であると学んでいました。私自身も『美しい里川を美しいままに次の子どもたちに残したい』と



▲中学生へ向け河川保護の説明を実施



▲放流する魚の選別

改めて感じたとともに、溪流魚を通じた河川教育の機会を提供するそんな活動も進めていきたいと思っております。